NPO 法人フードバンク北九州

ライフアゲイン

2019 年次活動報告

THANKS REPORT 2019

Vision

私たちは『すべての子どもたちが大切』とされる社会の実現をめざしています。それは言い換えれば、ひとり一人の子どもの中に潜んでいる可能性が大切にされ、その可能性を尊重し、かけがえのない存在としてひとり一人が愛される社会の実現を目指しています。

Mission

生まれ育った環境のために　満たされた食事ができない
十分な教育を受けられない　寂しい思いをしている子どもを
北九州市からゼロにする。

“誰一人取り残さない社会の実現“を

SDGsは、2015 年 9 月の国連サミットで国連加盟 193 ヵ国によって採択されました。この地球が「持続可能な世界」となり、「誰一人取り残さない社会」となるために、2030 年までの 15 年間で達成するために掲げた 17 の目標です。言い換えれば、この地球が持続可能でない危機的状況にあることを世界中に自覚させ、15 年後の『世界のありたい未来像』を創出するために掲げられた決意の旗です。

この決意の旗が掲げられて 5 年が経過しましたが、2020 年の今、世界中に新型コロナウイルス感染症が広がっています。多くの人々の当たり前の日常が突然奪われ、非日常を新たな日常として受入れざるを得ない状況となっています。

多くの方々が感染し、亡くなっていく緊急事態の中で、私たちはもう一度何が本当に大切で、何を優先しなければならないかを見直す機会となっているのではないでしょうか。「自分さえよければいい」、「家族との時間より仕事」、「早く早く」といった日々から、「自分は支えられている」、「かけがえのない家族」、「ゆっくりでいい」、「今のいのちが大切」という価値観が浮き彫りにされてきたように思います。そして、SDGsが目指す「誰一人取り残さない社会」は、このような心を一人ひとりが持つことから実現していくのだと確信しています。

2020 年 3 月、ライフアゲインは北九州市≪SDGs 大賞≫を受賞しました。この受賞は、活動を通して SDGs の本質を一人でも多くの人々に伝えていく使命を与えられたものと感じています。ぜひ、私たちと共に、誰一人取り残さない社会、すべての子どもたちが大切とされる社会を創っていきましょう。

理事長　原田昌樹　　2020 年 7 月

表彰状

2019北九州SDGs未来都市アワード
SDGs大賞

特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン 殿

北九州市における子どもの貧困の連鎖と
貧困ロスの根本的解決に向けた活動

あなたがたが取り組む活動はSDGsの
達成に寄与し他の模範となるものです
その功績を称えるとともに
今後一層の発展を期待しここに表彰します

令和二年三月三十一日

北九州市長　北橋健治

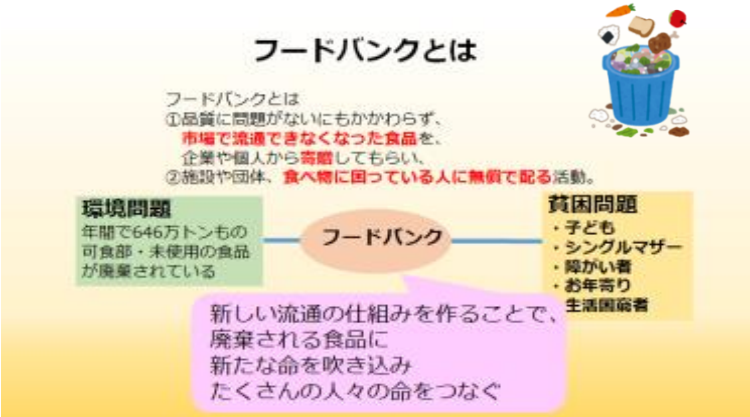
北九州市議会議長
代表　近藤倫明

NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲインは
活動を通してＳＤＧｓ（エスディージーズ）（持続可能な開発目標）に貢献しています

フードバンク事業

「もったいない」を「ありがとう」へ

「まだ食べられる食品を活用した食料支援」――人も食べ物も、役に立つのに必要ないとされ捨てられています。「食べ物の命は人の命につながっている」、食品ロスと食品を必要とする方々をつなぐフードバンク活動を「命の大切さと思いやりを取り戻す」事業として取り組んでいます。



２０１９年度実績	
食品取扱量	４８．８ トン
食品提供企業数	１４２ 社・団体
食品受け取り施設	１１１ 箇所
子育世帯食料支援数	４３ 世帯
子育世帯支援総数	１３５ 世帯
緊急食料支援件数	３０ 世帯

● 福岡県内に食品関連企業は約 850 社ありますが、福岡県内のフードバンク全体でみると、その 20%（170 社）から寄贈していただいています。県内のフードロスは 12 万トンと推定されますが、県内フードバンクによって役立てられているのは、まだその 0.12%（140 トン）だけです。将来に向けて、12 万トンをどう削減していくかを、県内のフードバンクや福岡県フードバンク協議会、各自治体と協働して長期計画を立てる必要があります。

大量の食品ロス削減

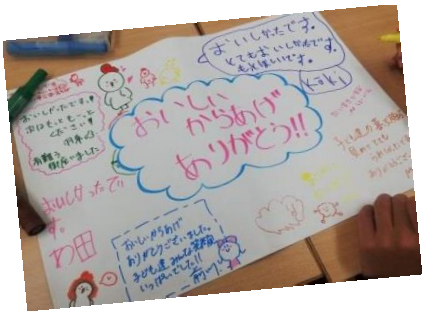
フードドライブ

● 家庭から発生するフードロスを削減し、食品として活かしていく取組みです。市民センターや北九州市立大学、西南女学院大学、北九州市社会福祉協議会、エフコープ、イオン、大英産業など、さまざまな企業で取り組まれました。

● ギラヴァンツ北九州や「ロスロスハロウィン」などの他団体と協働の取組みも進みました。

ロスロスハロウィン　福岡県環境部と地域（小倉南区守恒）と北九州市立大学の協働で実施

● 「お寺おやつクラブ」との連携も進み、近隣のお寺から、お供えのお菓子などが定期的に届けられています。



お礼のメッセージ

【 パートナー意見交換会 】

111 の食品受取り施設はパートナーとして、１年に１度意見交換会を行い、フードバンクのしくみや現場のニーズなど、相互理解を深めています。

フードバンク事業

福祉施設や子ども食堂への支援拡大

- ライフアゲインが取り組んでいる「子ども食堂市内普及プロジェクト」、「子ども食堂ネットワーク北九州」との連携が強化されて、合意書を締結する子ども食堂が増えています。
- 2019 年 12 月には「子ども食堂の支援に向けた取り組みに関する連携協定」を北九州市と締結しました。この協定によって、子ども食堂への食品提供はさらに進んでいくことが期待されます。

子ども食堂の支援に向けた連携協定調印式

さまざまな企業・組織との連携

- イオン九州…イオン九州の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」による寄付活動に参加しています。毎月、店舗でフードドライブを実施、店頭で DVD の映像を流してライフアゲインを紹介していただいています。
- 株式会社サンキュードラッグ…ライフアゲインの食品配布の受け取り拠点（利用者が取りにいく）を、サンキュードラッグの店舗で引き受けていただいています。各店舗にはリーフレットと募金箱が設置されています。
- エフコープ生活協同組合…店舗でのフードドライブの実施、寄付つき自販機の設置、フードバンクの食品をエフコープの支所の倉庫に置かせてもらうなど、さまざまな支援を受けています。
- 大英産業…倉庫（ライフアゲイン第２倉庫）の無償提供を受けています。もがるかキッチンの改装はじめ寄付つき自販機設置や古本の取組にも積極的に参加していただいています。
- コカ・コーラ…ＳＤＧｓの広報として、寄付つき自販機のラッピングを協働でデザイン。各企業、大学などに設置してもらっています。

- 北九州市社会福祉協議会…フードドライブ活動を契機に連携が深まりました。

もっともっと多くの連携、支援をしていただいていますが、紙面に制限があり、ご紹介できません。ぜひ、ライフアゲインのホームページをご覧ください。

株式会社サンキュードラッグ
カスタマーコミュニケーション部
地域連携課　**平岡　耐努**

フードバンク北九州ライフアゲインの子ども食堂に、初めて行かせて頂いた時の事は今でも忘れられません。行儀よく食事や学習をする子共達の中に1人だけ騒ぎ、みんなの輪を乱す子供がいました。何度注意しても言うことを聞かない子供ですが、毎日この場所に通ってくるそうです。今まで居場所がなく寂しい思いをしていたと思うと涙が溢れてきました。

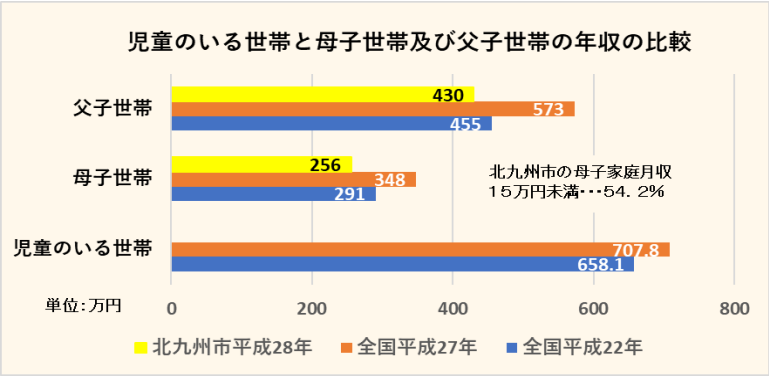
成長期の子共達に愛情を注ぐ事はとても大切ですが、と同時に食事は必要不可欠です。何らかの理由で充分な食事や栄養が与えられない上に、就学・進学のチャンスが閉ざされることは、次世代に渡って貧困の連鎖が発生します。今後もお互いが地域に存在し続ける為に、子供達が大切にされる社会を築いていければと思います。

「子どもの未来を守る」あなたの支えを必要としています

食のセーフティーネット事業

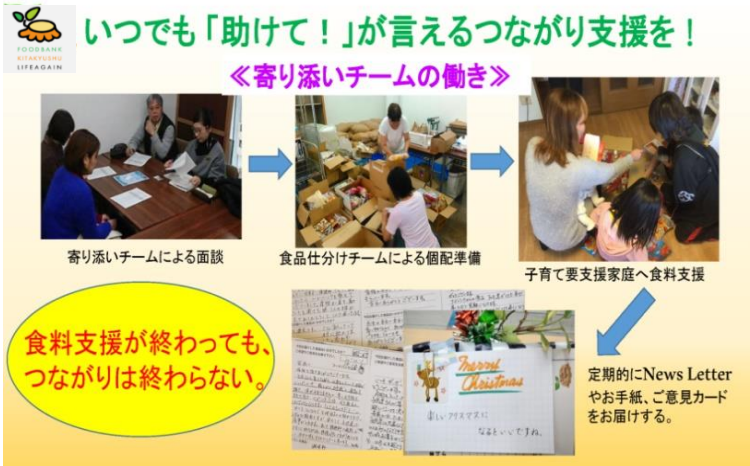
“食べものの命は人の命につながっている”

あなたの周りに、子育て家庭で経済的に困っている方、支援をどの様に受けてよいのかわからない方はいらっしゃいませんか。経済的にゆとりがない状況は、親が仕事や病気やストレスでいつも家にいないなど不安定な養育環境を生み出しています。母子世帯で生活保護を受給しておられるのは全体の 11%（平成 28 年度）です。見えにくい貧困が広がる中、私たちは支援を必要とする人に支援が届くよう活動を続けます。



参考：厚生省「平成 28 年度全国ひとり親等世帯調査結果報告」、
北九州市子ども家庭局「平成 28 年度北九州市ひとり親家庭等実態調査報告書」

- ライフアゲインでは、子育て世帯への継続的な支援、また、子育て世帯に限らず緊急食料支援も行っています。そして、寄り添いチームによるヒアリングを行い、食料支援終了後も、子育て世帯に対して傾聴、情報提供などをしています。
- 2017～18 年度、北九州市子ども家庭局（各区役所の「子ども家庭相談コーナー」）との連携、保健福祉局（各区役所の生活困窮者相談窓口「いのちをつなぐネットワーク」）との連携を深めてきました。



そして、2019 度は子ども家庭局と保健福祉局との合同会議を開始して、支援強化につながるよう連携強化を図りました。

【あるお母さんからのメッセージ】

はじめまして。今日、フードバンクを利用させていただきました。
母子家庭で余裕がないため、子どもは一人でお留守番させ仕事に行っています。
それでも収入は減り、食費はかさみ…で困っておりました。実は、このような支援を受けることを、恥ずかしいと思う偏見もありました。
しかし、今回初めて利用させていただき、本当に困ったときは、他の方に助けていただく事も大切だと学びました。お米から、お菓子まで、配っていただき、本当に感謝です。
一年生になった娘も、いただいた食料を見て、
「こんなにもらえたの？　すごい！　嬉しい！　チョコもあるし、カルピスまであるよ！」とはしゃぎながら、すぐ冷蔵庫にカルピスを入れていました。（笑）
娘の喜ぶ姿をみられたのも、北九州ライフアゲインのおかげです。周りに困窮している方がいたら、このような支援があることを紹介させていただきたいと思います。ありがとうございました。

ファミリーサポート事業

「すべての子ども達が大切とされる社会」を実現するために、子どもの貧困、負の連鎖を断ち切る包括的支援ネットワークの実現を、ライフアゲインがリードしていきます。
地域の拠点としての「子ども食堂」を各校区に１ヵ所設立を目指す「子ども食堂市内普及プロジェクト」を進めています。

尾倉っ子ホーム

★開催日:毎月第2/4水曜日　★登録児童:38名　★参加延べ人数:1011名
★スタッフ:15名、地域ボランティア（西本町母親クラブ）:12名、
学生ボランティア（北九州市立大学）:10名

● 皿倉小学校区を北九州市の子ども食堂モデル地域として運営している子ども食堂です。

みんなで味噌汁作り体験！

調理実習
調理には生きるために大切な全ての教科が入っています。台所でしか学べない授業をおいしく、楽しく…。

皿倉小学校の先生も、毎回参加

一問終わったら、遊べる！！

山中先生（元校長先生）によるポイント学習

ポイント学習
山中先生がポイント学習（算数のみの弱点克服）の問題を学年児童ごとに作成。学習時間の長さではなく、課題問題を終えたら自由時間にすることでメリハリをつけ、北九大生の協力で学習支援を強化できました。

大学生ボランティアと楽しく学習

大学生のイベント企画も年間計画で
地域交流も念頭に入れて進めていきます。
夏休みの高校生のボランティア参加も SDGs 教育プログラムの一環。

もがるかホーム（子ども食堂・学習支援）

★開催日:毎週月・火・木　★時間:午後5時～8時　★登録児童:19名
★開催回数（2019.4/4～2020.3/30）:130回　★参加延べ人数:2600名

● 学習支援に力を入れ、商店街の中にある立地条件を活かした多世代交流の子ども食堂です。

食育に力を入れた内容を考えています。

運営ボランティアが不足しています。安心して外遊びができるよう、地域の見守り体制を考えていきます。

学習プランを作成して、学力の伸びが図れるようにしています。

“もがるかキッズクラブ”における体験学習

★開催回数（2019.5/1～2019.4/30）:5回
★参加延べ人数:213名

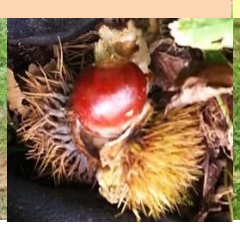
● 自然体験と仕事体験を重視した子ども会です。活動を通して自己肯定感が育まれます。

天縁ぼう 田植え体験
6月 22 日（土）・宗像市

馬と一緒に磯遊び
8月3日（土）・北九州市・岩屋海岸

天縁ぼう 稲刈り体験
10月19日（土）・宗像市

楽しくてびっ栗！栗拾い・竹遊具作り
9月 21日（土）・宗像市

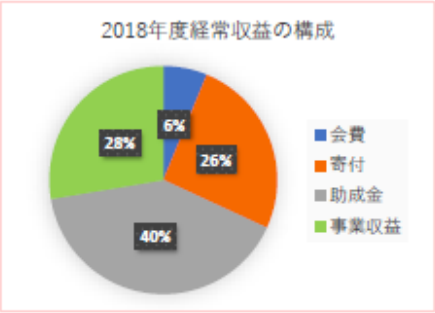


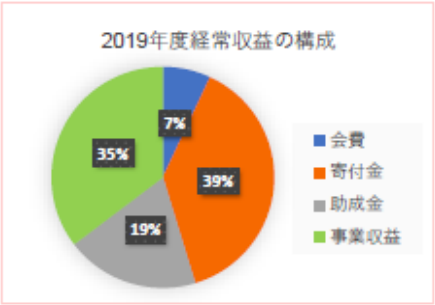
天縁ぼう もちつくぞ！
12月21日（土）・宗像市

数字で見るフードバンク北九州ライフアゲイン

1．活動計算書　　（単位：円）

科　目		当年度	前年度	前年度比
受取会費		875,000	912,000	96%
受取寄付金	受取寄付金	4,819,819	3,747,224	129%
	資産受贈益	0	3,600,000	0%
受取助成金等	受取助成金	2,430,000	4,960,000	49%
	受取補助金	0	950,000	0%
事業収益	自主事業収益	2,359,220	1,242,242	190%
	受託事業収益	2,000,000	2,700,000	74%
その他収益		82,719	98,021	84%
経常収益　計		12,566,758	18,209,487	69%
事業費	人件費	1,948,230	1,902,060	102%
	業務委託費	1,102,380	2,177,152	51%
	諸謝金	451,414	903,071	50%
	印刷製本費	288,155	753,266	38%
	旅費交通費	348,403	925,247	38%
	車両費	279,166	252,780	110%
	通信運搬費	109,646	233,361	47%
	事務用品費	0	245,015	0%
	消耗品費	533,638	358,591	149%
	器具什器費	0	274,096	0%
	水道光熱費	519,316	457,196	114%
	食材費	388,492	0	-
	地代家賃	1,620,000	818,400	198%
	減価償却費	747,744	249,577	300%
	その他の費用	484,805	508,637	95%
	事業費　計	8,821,389	10,058,449	88%
管理費	人件費	1,951,479	1,711,272	114%
	業務委託費	263,800	32,400	814%
	旅費交通費	177,190	108,950	163%
	通信運搬費	216,009	147,476	146%
	事務用品費	107,791	231,892	46%
	水道光熱費	139,071	221,543	63%
	地代家賃	418,800	648,682	65%
	保険料	228,250	0	-
	支払手数料	203,301	14,134	1438%
	その他の費用	444,647	331,028	134%
	管理費　計	4,150,338	3,447,377	120%
経常費用　計		12,971,727	13,505,826	96%
当期経常増減額		△ 404,969	4,703,661	-9%
経常外費用		0	116,667	0%
当期正味財産増減額		△ 404,969	4,586,994	-9%
前期繰越正味財産額		6,174,341	1,587,347	389%
次期繰越正味財産額		5,769,372	6,174,341	93%





2018 年度と 2019 年度を比べると、全体の収益に占める会費・寄付金の割合は 32%から 46%に、実績数も 466 万円から 570 万円にアップしています。マンスリーサポーター（毎月定額の寄付をして下さる人）は 40 人から 61 人となりました。皆様の力で支えられているライフアゲインです。

2018 年度の資産受贈益は、JA 共済様から寄贈された車両です。ライフアゲインの活動のさまざまな場面で活躍中です。

【正会員】　＊氏名公開可の方のみ、順不同にてご紹介させていただきます。（2019 年度末現在）

サンホーム様　稲田晋也様　養行寺森谷大行様　株式会社みつば不動産様　山田ホーム様　二口仁子様　宇津定七様　須藤博様
大原始様　永野英男様　福島洋子様　大世渡滋様　松尾晴美様　中村ゆきとし様　末松津禰美様　橋本信夫様　讃井早智子様
藤井美佐子様　野辺千香子様　河野紗織様　金成子様　蔦川正義様　二口正巳様　小松資子様　森本由美様　八百屋さやか様
三宅博之様　白濱貴子様　原田昌樹様

2019 年次報告 THANKS REPORT2019

発行：NPO 法人フードバンク北九州**ライフアゲイン**　　発行日：2020 年 8 月 1 日

〒805-0019 福岡県北九州市八幡東区中央 2 丁目 14-17

●お問合せ　093-672-5347　FAX 093-671-2395　info@fbkitaq.net

●受付時間　月・水・金　10:00～16:00（日曜日・祝日休み）み）